

ほっとアングル Hot Angle



下灘みなと祭り



7月17日、双海町串にある豊田漁港では、『下灘みなと祭り』が開催され、地元はもちろん市外の方などの観光客が大勢訪れました。

漁師たちのお祭りということもあって、大漁祈願祭が行われた後、地元の漁船20余隻が海上を勇壮にパレード。漁師の威勢の良さをアピールしました。続いて、この祭りのメインイベントである魚のせり市が行われました。地元で獲れた新鮮なタイやイカ、アジなどの魚が大量に並んだこのせり市では、市価の半値程度で魚が次々と競り落とされ、あっという間に完売。中には持ちきれないほど買い込んでいる客もいました。

また、夕方にはふたみ音頭パレードやカラオケ大会、花火の打ち上げなどもあり、目白押しのイベントに会場は活気ある一日を見せていました。



五色姫海浜公園サマーフェスティバル

7月17日、照りつける太陽の下、五色姫海浜公園でサマーフェスティバルが開催されました。今年で10回目となるビーチバレーフェスティバルには、県内外からファーストクラスに男子16チーム、女子8チーム、セカンドクラスには53チームが参加。砂浜の上で、白熱した試合が繰り広げられました。また、

早朝から釣り大会、潮干狩りも行われ、ビーチは多くの親子連れでにぎわっていました。





唐川びわ祭り

6月26日、唐川コミュニティセンターで『第23回唐川びわ祭り』がありました。今年のびわは、小粒ながらも糖度は抜群。唐川名産のびわや、びわを使った加工食品が市場より安く手に入るとあって、朝早くから多くの方が会場を訪れていました。また午前中には、留学生20人がびわの収穫やびわの木を使った草木染を体験しました。中にはびわを食べるのは初めての方もいましたが、「甘くて、おいしい。」といくつもほおばっていました。

午後になると、その留学生も参加しての「びわの種飛ばし国際？大会」が行われました。参加者は会場からの声援を受けながら、助走をつけたり、景品を狙ったり、また、新記録も飛び出すなど、種飛ばしを楽しんでいました。



お寺で『落語会』

6月26日、双海町上灘にある地藏寺では、お寺をもっと身近な存在に感じてほしいとの思いで、「落語会」を開催。寺の檀家をはじめ、近所の方たちが大勢集まりました。

「笑い」をテーマに行われたこの落語会には、松山市出身の落語家「林家染太」さんが出演。得意の上方落語で、集まった人々を大いに笑わせてくれました。



中山町スポ少春季交歓会

6月18日、『第24回中山町スポーツ少年団春季交歓会』が開催されました。

本庁地区から南山フェニックス、市外から内子スポーツ少年団を招待したこの大会では、ソフトボール、ミニバスケットボール、卓球が行われ、それぞれの種目で熱戦が繰り広げられたほか、友情も深めることができました。



女子ソフト全国大会へ

中村地区の女性を中心に構成する女子ソフトボールチーム「北山体育会」が、35歳以上の大会『第10回全日本エルダー大会愛媛県予選』に初めて出場し、持ち前のチームワークの良さで初優勝しました。

今年の全国大会は、9月に北海道で開催されることもあって、選手たちはとても楽しみにしているそうで、まずは全国で1勝をめざしたいとがんばっています。



版画で 文部科学大臣賞

協同組合連合会日本専門店会連盟主催の「第14回日専連全国児童版画コンクール」で、中山小学校3年の吉田次美さんが最優秀となる『文部科学大臣奨励賞』を受賞しました。

作品の題名は『ライオンとあそんだよ』。ライオンと遊んでいる自分を想像して描いたというこの作品は、力強いライオンの顔が特徴。もともと図工の好きな吉田さんは、「受賞して図工がもっと好きになりました。」と喜んでいました。

受賞おめでとうございます。